

令和5年度 障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業

# バリアフリー

# 演劇祭

滋賀県では、障害の有無にかかわらず、誰もが文化芸術プログラムを楽しめるよう、手話や字幕などの鑑賞サポート等を行います。ホールでの鑑賞に不安のある人も楽しめるよう「体が動いたり、声が出てもOK」「出入り自由」な公演なので、みなさん、ぜひ、気軽にお越しください。

2024  
1/28日

14:00開演(13:30開場)

**場所** 守山市民ホール 小ホール

守山駅からの移動

◎守山駅西口のりばより「杉江循環線」もしくは「守山市民ホール行き」にご乗車いただき「守山市民ホール前」にて下車。  
(徒歩の場合：約30分、バス利用の場合：約7～18分)

**料金** 無料 **定員** 200人(予定)

※定員に達し次第、受付を終了します。

**申込方法** 右記申込フォームより  
申込ください

**申込期間**：～2024年1月22日まで

Tel 075-256-2405  
Mail minami@beedream.co.jp



## 鑑賞サポート内容

- 劇中のセリフに加えて効果音や音楽などの情報が入った字幕
- 上演前に、劇場や舞台、登場人物について解説する舞台説明会の実施
- 受付における手話対応の専用受付の設置・手話や筆談ボードなどで案内
- 鑑賞に関する相談窓口を設置します
- ヒアリングループ席の設置
- 車いす席の設置
- カームダウンスペースの確保
- 希望者への台本の事前貸出(要申込)

# 演目のご紹介

## 14:00~ オープニング 和太鼓演奏 出演:かか太鼓

2015年3月に近江八幡市で結成された、障がい児者による和太鼓チームです。「和太鼓を打ちたい!」「和太鼓が大好き!」という気持ちを何よりも大切にしています。現在は小学生から20代の10数名で活動中。

こんなことが起こります とても大きな音



## 14:30~ 僕はいつも横になっている…だけとは限らない I am not always lying. 出演:劇団まちプロ一座

**あらすじ** とある街の、ある劇団。この劇団は障がいあるなしに関わらず、一つの演目をそれぞれの役割で一緒につくりあげています。劇団員こてつは自信をなくし、流されるままに、日々を過ごしています。そんなこてつですが、あることがきっかけで再起を図ろうとするのですが…。

こんなことが起こります

大きな声や音がでます・照明が点滅します・真っ暗になります・言い合いをします



## 休憩

## 16:30~ 戦国のジャスティス ~藤田伝五の物語~ 出演:守山ふるさと劇団

**あらすじ** 「守山市出身の戦国武将がいた!？」夏休みを過ごしていた藤田兄妹らは、不思議な機械を持った少女と、憧れの戦国時代へタイムスリップ。そこで出会ったのは明智光秀の宿老、藤田伝五だった。一乱世に生きる武士の“正義”とは何なのか。2020年の初演で大人気だった舞台を再演!

こんなことが起こります

大きな声や音がでます・言い合いをします・戦います



主催 滋賀県、公益財団法人びわ湖芸術文化財団  
令和5年度滋賀県障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業  
滋賀で人と社会と文化芸術をつなぐプロジェクト“SANPOh”  
令和5年度文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業

共催 公益財団法人守山市文化体育振興事業団

